

ネオセラメントEシリーズは当社独自の技術により、従来のセメント系固化材の作業性を損なうことなく、施工時の発塵を抑制することができます。また、強度発現性や六価クロム溶出量の低減効果についても、従来のセメント系固化材と同様の効果を得ることができます。

ネオセラメントEシリーズは周辺環境に配慮した固化材です。



従来品



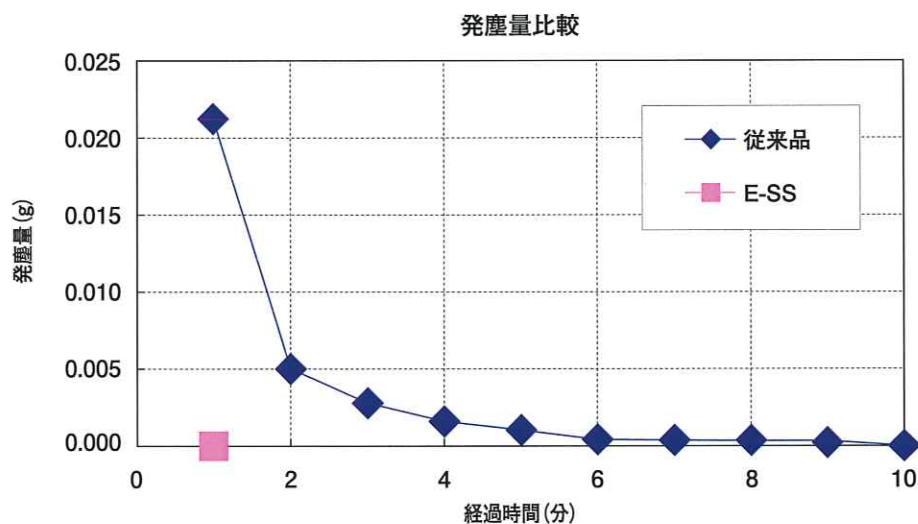
ネオセラメントEシリーズ

「ネオセラメントEシリーズ」の特長

- ・ 従来のセメント系固化材の特長と性状を維持し、防塵効果を付加したのが「ネオセラメントEシリーズ」です。
- ・ ネオセラメントEシリーズの品種名は従来の品種名を用い、例えば「ネオセラメントSS」の場合、「ネオセラメントE-SS」となります。
- ・ ネオセラメントEシリーズはセメント系固化材ネオセラメントの全品種に対応可能です。

防塵効果

従来のセメントやセメント系固化材で改良した場合に比べ、ネオセラメントEシリーズを使用することにより、施工時の発塵量を98%（当社比）抑えることができます。



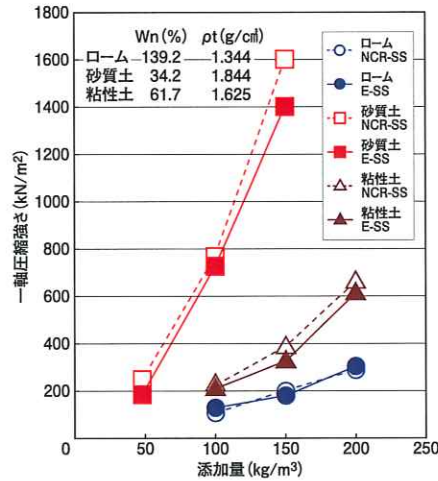
※測定方法

試料1kgを容器内で攪拌後排出し、容器内に充満した粉塵の濾紙上に確認できる堆積粉塵量を1分間隔で測定。

<防塵型セメント系固化材>

ネオセラメントEシリーズ

室内配合試験例 一例として、NCR-SSとE-SSとの比較データを示します。



同じ種類の土質でも、含水比、湿潤密度、粒度分布等の違いにより強度発現が大きく変動する可能性がありますので、事前に配合試験を行って確認することが大切です。

六価クロム溶出試験例

| 試料土 | 固化材 | 添加量 (kg/m³) | 溶出量 (mg/l) |
|---------|--------------|-------------|------------|
| 砂質土 | ネオセラメント SS | 100 | <0.02 |
| | ネオセラメント E-SS | 100 | 〃 |
| 粘性土 | ネオセラメント SS | 150 | 〃 |
| | ネオセラメント E-SS | 150 | 〃 |
| 火山灰質粘性土 | ネオセラメント SS | 150 | 〃 |
| | ネオセラメント E-SS | 150 | 〃 |

試験方法：環境庁告示46号法に準拠

水溶性六価クロムの土壤環境基準は0.05mg/l以下となっております。ただし、当該土壌が地下水面から離れており、現状において当該地下水中の六価クロム濃度が0.05mg/lを超えない場合は0.15mg/lが適用されます。

定量下限値：0.02mg/l

荷姿 1tフレコンのみとなります。

取り扱い注意

- 防塵マスク、防塵メガネ、手袋等の保護具を必ず着用してください。また、長時間吸入すると、人体に害を及ぼす恐れがあります。
- アルカリ性のため、皮膚に直接製品が触れないようにしてください。また、目に入った場合は迅速に大量の水で洗い、専門医による適切な処置を受けてください。
- ネオセラメントEシリーズは地盤改良用固化材ですので、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
- ネオセラメントEシリーズを過剰に添加した場合に、結合水の不足により固化不良を起こしたり、土との混合が不十分な場合に膨張を起こす可能性がありますので、適正な添加量で十分に混合して使用してください。
- ネオセラメントEシリーズには極微量のクロム化合物が含まれており、これを用いた改良土から極まれに土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合があります。使用に際しては事前に試験を行って溶出量を確認してください。

フレコン取り扱いのお願い

1 吊上げる場合

急な吊上げ、吊おろしはしないでください。

横びきはしないでください。

吊ロープのフックを正しく掛け、片づりはやめてください。

2 排出する場合

内容物は残留しないよう全量排出してください。

飛散防止の為できるだけ低い位置で排出してください。

吊上げたフレコンの下に入らないでください。

3 保管する場合

仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。

問い合わせ先

■株式会社デイ・シー セメント事業本部 営業部
〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビルディング17F
TEL:044(223)4753 FAX:044(223)4759
<http://dccorp.jp/>

■技術センター

〒210-0854 川崎市川崎区浅野町1番17号
TEL:044(333)0618 FAX:044(355)4010